

講義名	自己発見とキャリア開発 A (K11)				授業形態	
担当教員	三原 裕子	開講期・曜日・時限	前期 月曜日 1 時限 / 前期 月曜日 2 時限 / 前期 火曜日 1 時限 / 前期 火曜日 2 時限			
		単位数	8	履修開始年次	1 年生	ナンバリング・コード
主題と概要						
本授業は、本学が掲げる「夢の種プロジェクト」では、「探す」に位置づく教育プログラムである。さらに、夢の種を「探す」ための教育プログラムの中でも、基幹となるのが本授業である。科目名にある通り、自分自身がどのような人間なのかを理解するために自らのアイデンティティに気づく(自己発見)。そして、今後の学びや将来自分らしく自立して生きていくために基幹となる能力を育成・獲得する(キャリア開発)ことを目的とする。この目的を達成するために、以下の目標を設定し、目標達成の状況を適切な手法によって適宜評価する。						
到達目標						
本授業では、 「自己理解・自己発見領域」「人間関係形成」「情報活用」「問題発見・解決」の4つの領域に分け、関連する能力の育成を目指す。						
提出課題						
毎授業ポートフォリオを作成し授業の振り返りを行う。 また、各プログラムにおいて個人で、グループで作成した成果物を提出する。						
課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法						
ポートフォリオを教員とやりとりすることで適宜フィードバックを行う。 また、各種成果物を作成する過程で教員と対話し、適宜フィードバックを受けながらより良い成果物の作成を目指す。						
評価の基準						
・ポートフォリオ 30% ・コミュニケーションキャンプ成果物 5% ・自己理解プログラム成果物 10% ・ASプログラム成果物 15% ・学問研究プログラム成果物 5% ・職業研究プログラム成果物 15% ・国際交流プログラムの成果物 5% ・自己キャリアまとめの発表の様子と発表資料 5% ・ライন্ズドリル 10%						
履修にあたっての注意・助言他						
本授業は必修科目である。全60コマのうち4分の1（15コマ）欠席すると単位認定は行わないので注意すること。 また、授業資料の配布やポートフォリオの提出はTeamsを使い、データのやり取りを通じて行う。紙での資料配布・回収は行わないので、授業に持参できるノートPCやタブレットを保持している学生は授業に持ってくることを強く推奨する。 ノートPCやタブレットを保持していない学生は、メディアセンターを各自活用するなどして、課題の作成や提出を行うこと。 スマートフォンのみでは十分な学修成果を得ることはできない。						
教科書						
. 使用しない。						
参考図書						

その他			
資料はTeamsを通して適宜配布する。			
授業計画			
授業計画と予習・授業準備、復習・振り返りについては別紙添付資料を参照。			
授業形態（アクティブ・ラーニング）			
○	ア：PBL（課題解決型学習）		イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
	ウ：ディスカッション、ディベート	○	エ：グループワーク
○	オ：プレゼンテーション	○	カ：実習、フィールドワーク
	キ：その他（A-L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）		
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連			
本授業では全てのOPの基礎となる能力の育成を目指す。 特に、建学の理念と関連する「ネアカ のびのび へこたれず」の精神をもった人材の育成に向け、様々な活動や経験を通して、社会に出て必要な能力の育成を目指す。			
双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述			
課題（ポートフォリオや成果物）の提出、授業のフィードバックについては、Teamsを介してやり取りを行う。			
実務経験の有無及び活用			
備考			